

東九州メディカルバレー構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年7月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.3+4.3)/2=4.3$

4.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

| 番号 | 評価指標                    | 進捗度  | 評点 |
|----|-------------------------|------|----|
| 1  | 医療関連機器の市場化件数            | 133% | 5  |
| 2  | 新規医療機器製造登録事業所・製造販売許可業者数 | 200% | 5  |
| 3  | 新規輸出する医療関連機器を製造する企業     | 50%  | 2  |
| 4  | 新規海外医療技術人材育成数           | 952% | 5  |

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 4 = 4.3$

4.3

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3+3.4+4.2)/3=3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.4

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.2

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・大分県と宮崎県の産学官が地域資源を活用した医療関連機器産業と国内外の医療技術人材の育成は順調に進捗している。ASEAN諸国を対象とする人材育成を通じて医療機器の海外展開を促進するなど、相乗効果も期待できる。
- ・医療関連機器開発に参入する企業が増え、市場化の実績も増えていることが評価できる。地域独自の取組の成果もあって、両県における企業のネットワークが形成されており、海外展開へと結び付ける支援の強化が求められる。
- ・数値目標(4)「大分・宮崎両県の産学官による新規海外医療技術人材育成数」については、成果の達成状況は素晴らしいものの、目標値の上方修正が必要。目標値と実績値の乖離が大きいことについて、内容の解析が更なる発展へのヒントになると思われる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(4.3+3.5+3.8 \times 2) \div 4 = 3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。